

担当：札幌市消費者センター調査指導係  
TEL 728-2111 FAX 728-2112

平成 23 年度 年末年始における生活関連商品の需給・価格見通しについて

札幌市では、生活に密着した食品や石油製品等の物価の動向を的確に把握し、市民に情報提供するため、生活関連商品価格動向懇談会を開催し、年末年始における生活関連商品の需給動向及び価格見通しに関する調査を行いましたので、その結果についてお知らせします。

記

1 協力を得た業界団体及び事業者

- |                   |                        |
|-------------------|------------------------|
| (1) カネシメ高橋水産(株)   | (5) 北海道製麺協同組合          |
| (2) 丸果札幌青果(株)     | (6) 日糧製パン(株)           |
| (3) 札幌食肉卸業協会      | (7) 札幌地方石油業協同組合        |
| (4) ホクレン農業協同組合連合会 | (8) (社)北海道エルピーガス協会石狩支部 |

2 調査時期

平成 23 年 12 月上旬 (平成 23 年 12 月 8 日、上記団体と懇談会を実施)

3 概要

(1) 青果物

調査品目の 18 品目中、安値・やや安値は 4 品目、前年並みは 11 品目、高値・やや高値は 3 品目であった。

(2) 水産物

調査品目の 14 品目中、前年並みは 7 品目、高値・やや高値は 7 品目であった。総じて高値傾向であるが、秋さけは、水揚げが前年比 10%以上の減産になったことからやや高値、また、まぐろは、世界的な漁獲制限により輸入量が大幅に減少していることから高値となる見込み。

(3) 畜産物

調査品目の 7 品目中、安値・やや安値は 4 品目、前年並みは 3 品目であった。高額な商品は売れない環境ではあるが、年末・年始については、需要も伸びる傾向となっている。

(4) その他食料品

黒豆、小麦粉は高値・やや高値だが、もち米、鶏卵、生そば、そば粉、ラーメン、パンは平年並みとなる見込み。

(5) 石油製品

灯油、軽油、レギュラーガソリンはやや高値、プロパンガスは前年並みとなる見込み。また、在庫量は充分にあり供給不足の懸念はない。

平成 23 年度 年末年始における生活関連商品の価格見通し 一覧表

	安値	やや安値	前年並み	やや高値	高値
青果物	ばれいしょ	みかん・ きゃべつ・ たまねぎ	生しいたけ・にんじん・ ごぼう・れんこん・里いも・ たけのこ・はくさい・ ほうれん草・長ねぎ・ きゅうり・さつまいも	レタス	みつば だいこん
水産物			味付数の子・飯寿司・いか・ 赤えび・はまち・ スモークサーモン・ 板かまぼこ	新巻さけ・ まぐろ・ ほたて・ こんぶ	いくら・ たこ・ たらばがに
畜産物		国産牛肉・ 輸入豚肉・ 国産鶏肉・ 輸入鶏肉	輸入牛肉・国産豚肉・ ロースハム		
その他 食料品			もち米・鶏卵・生そば・そば粉・ ラーメン・パン	小麦粉 (道内産)	黒豆・ 小麦粉 (輸入)
石 油 製 品			プロパンガス	灯油・ レギュラー ガソリン・ 軽油	

価格見通しの用語基準

- 前年並み = 前年同期比 ±5% 未満  
 やや安値・やや高値 = 前年同期比 ±5 ~ 15% 未満  
 安値・高値 = 前年同期比 ±15% 以上

平成23年度 年末年始における生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
青      果	みかん	やや安値	和歌山県産が主力。作況は6月の高温により生理落下が多く着果量は減少したが、その後の降雨により玉の肥大が進み大玉傾向となり、入荷量は前年に比べ増加が見込まれる。価格は前年に比べやや安値が見込まれる。
	生しいたけ	前年並み	作付は増反傾向。作況は生育良好で順調な入荷が見込まれる。価格は前年並みが見込まれる。
	にんじん		千葉県産、埼玉県産、茨城県産の入荷。作付は前年並み。作況は生育期の天候に恵まれ生育良好で、順調な入荷が見込まれる。価格は前年並みが見込まれる。
	ごぼう		石狩、後志、十勝、胆振地方の入荷。作付は前年並み。作況は生育期の天候不順により太物が少なくMSが中心となり、入荷量は前年に比べ減少が見込まれる。価格は前年並みが見込まれる。
	れんこん		作付は前年並み。作況は定植の遅れと水温低下の影響により一部に小振りと品質低下が見られ、入荷量、価格とも前年並みが見込まれる。
	里いも		作付は前年並み。作況は各産地とも生育期の高温の影響により、やや小玉傾向となるも入荷量は前年並みが見込まれる。価格は前年並みが見込まれる。
	物		みつば
だいこん		作況は生育期の天候に恵まれ生育順調で太物が多く、入荷量は前年に比べ増加が見込まれるものの、価格は前年に比べ高値が見込まれる。	
たけのこ (缶詰)		前年並み	中国産の入荷。作況は生育順調で入荷量は前年並みが見込まれる。価格は前年並みが見込まれる。

平成23年度 年末年始における生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
青	きゃべつ	(北海道産) やや安値  (本州産) やや安値	北海道産(貯蔵物)は生育期の長雨の影響により小玉傾向となり貯蔵量は少なく、年内の入荷量は前年並みを見込むが、1月以降は前年より減少が見込まれる。本州産は生育期に一部が台風による被害を受けたが、その後は回復し、順調な入荷が見込まれる。価格は総じて前年よりやや安値が見込まれる。
	はくさい	前年並み	作付は前年並み。作況は生育期の天候に恵まれ生育順調で大玉傾向となり、入荷量は前年並みが見込まれる。価格は前年並みが見込まれる。
	ほうれん草		作付は前年並み。作況は生育期の天候に恵まれ生育順調で前進出荷傾向が見られ、入荷量は前年に比べやや減少が見込まれる。価格は前年並みが見込まれる。
果	ばれいしょ	安値	北海道産(貯蔵物)の入荷。作況は生育期の天候不順の影響により小玉傾向から収穫量は減少し、入荷量は減少が見込まれる。価格は数量減少するも需要減退により前年より安値が見込まれる。
	たまねぎ	やや安値	北海道産(貯蔵物)の入荷。作況は十勝、網走地方は生育期の天候に恵まれ生育良好だが、石狩、空知地方は生育期の天候不順の影響により生育不良で収穫量は減少となる。入荷量は前年に比べ減少が見込まれるが、引合い弱く、価格は前年に比べやや安値が見込まれる。
	長ねぎ	(北海道産) 前年並み (本州産) 前年並み	北海道産「軟白ねぎ」は生育期の天候に恵まれ生育良好で、順調な入荷が見込まれる。本州産は生育期の干ばつと台風の影響により細身傾向が見られるものの、入荷量は前年並みが見込まれる。価格は総じて前年並みが見込まれる。
	きゅうり	前年並み	作付は前年並み。作況は生育期の天候に恵まれ生育良好で、順調な入荷が見込まれる。価格は前年並みが見込まれる。
	レタス	やや高値	作付は前年並み。作況は生育期の天候に恵まれ生育良好で、順調な入荷が見込まれる。価格は前年に比べやや高値が見込まれる。
物	さつまいも	前年並み	茨城県産が主力の入荷。作付は前年に比べやや増反傾向。作況は生育期の高温の影響によりやや小玉となり、入荷量は前年より減少が見込まれる。価格は前年並みが見込まれる。

平成23年度 年末年始における生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
水 産 物	新巻さけ	やや高値	北海道の秋さけ水揚げが前年比10%の減産となり、新巻さけの生産も減少し、価格は10～15%ほどの値上げとなっている。特に大型の新巻さけは、高値である。
	味付数の子	前年並み	正月商材である「味付数の子」は、ほぼ前年並みの価格で落ち着く見通しである。
	いくら	高値	秋さけの水揚げ減少と越年在庫の払拭により需給バランスが崩れ、高値で推移中である。
	飯寿司	前年並み	正月商材である「飯寿司」は、前年並みの価格で推移する見通しである。
	まぐろ	やや高値	世界的な漁獲制限による、日本への輸入量の大幅な減少で、高値傾向で推移中である。
	いか	前年並み	生鮮・冷凍ともに、水揚げもほぼ前年並みとなっており、今年の年末もこの傾向で推移する見通しである。
	赤えび		ボタンエビ以外のエビ類は、平均して前年並みで推移する見通しである。
	はまち		刺身商材として人気のある「はまち」は、安定して供給があり、価格も安定している。
	たこ	高値	全道的に水揚げが減少しており、加えて海外からの冷凍たこも少なくなっており、価格は上昇中、この傾向は、年末まで続く見通しである。
	ほたて	やや高値	全道の水揚げは、前年並みとなっているが、海外からの需要もあり若干高値で推移している。特に大型のほたては、前年より高値で推移している。

平成23年度 年末年始における生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
水	たらばがに	高値	ロシア及びアメリカからの輸入量が激減しており、前年より30%以上の値上げとなっている。
	こんぶ	やや高値	全道的に生産量が減少しており、やや高値で推移している。この傾向は、年末まで続く見通しである。
産物	スモークサーモン	前年並み	贈答用として人気があるが、今年も前年並みの価格で推移する見通しである。
	板かまぼこ		正月商材として、人気があるが、例年通りメーカーの企業努力により、前年並みの価格となっている。

平成23年度 年末年始における生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
畜	国産牛肉	やや安値	生食中毒や放射性セシウム問題により、前年より売れ行き低調、また、節約意識が強く、高額商品は、年末・年始くらいで動きが良くなるが、全体的には、安価商品（切り落とし）の売れ行きが目立つ。
	輸入牛肉	前年並み	米国産の輸入月齢緩和の話題があるが来年以降の内容であるので、年内においての米国産の販売増は考えにくい。豪州産は、他国の買い付けが強いことにより、現地高となっている。
	国産豚肉		牛肉からの需要の変化があり、堅実な需要が予想される。しかし、輸入豚肉の定番的な販売もあり、極端な相場の上げは考えにくい。出荷動向は、前年並み、安値があれば、国内産に人気あり。
産 物	輸入豚肉	やや安値	年末・年始の販売は国産豚肉中心になるが、クリスマス前までは、量販店の販促が入る見込み。安くても動きが鈍い。
	国産鶏肉		震災による供給不足も通常のレベルに回復し、生産量も戻る状態。供給面の心配はないことから、特売頻度も多いと思われる。
	輸入鶏肉		海外からの入荷量も多く、また、国産在庫も多いことから、価格の上げは考えにくい状況、安価な特売も予想される。
	ロースハム		前年並み

平成23年度 年末年始における生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
その の 他 食 料 品	もち米	前年並み	主産地、北海道・九州ともに作柄は良好で、昨年に比べて包装もち、米菓の生産量が伸びている。北海道米の玄米価格は、前年産並みで末端製品（もち精米）も同様の傾向で推移すると思われる。
	黒豆	高値	生産面積減少により、需要が現物供給を上回っているため、価格は前年を上回るとと思われる。
	鶏卵	前年並み	3月の震災の影響で一時的に価格は高騰したが、5月以降は生産の回復と加工用輸入鶏卵の急増により、価格は落ち着いている。年末にかけ、需要増により若干価格が上昇するものの、昨年よりは低調と思われる。
	生そば	(北海道産) 前年並み	道内産や輸入そば粉使用麺については、前年並み。
	そば粉	(輸入もの) 前年並み	道内産や輸入ものについては、前年並み。
	ラーメン	(北海道産) 前年並み (輸入もの) 前年並み	原材料は大幅に価格高騰をしているが、なかなか値上げ出来ない状況となっており、道内産小麦使用麺、輸入小麦使用麺ともに市場価格は前年並み。
	小麦粉	(北海道産) やや高値 (輸入もの) 高値	輸入物については高値に近い状況であるが、道内産はやや高値である。
パン	前年並み	主材料の小麦粉を始め砂糖類、油脂等もやや高値であり、7月に食パンの価格改定を実施しているが、消費者の低価格志向が根強く、前年並みの見込みである。	



平成23年度 年末年始における生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
石 油 製 品	灯油	やや高値	安定供給については、心配がない。原油が高止まりしているが、大きな変動はないと思われる。
	レギュラーガソリン		安定供給については、心配がない。原油が高止まりしているが、大きな変動はないと思われる。
	軽油		安定供給については、心配がない。原油が高止まりしているが、大きな変動はないと思われる。
	プロパンガス	前年並み	輸入価格の上下動はあるが、価格は前年並みで推移すると思われる。供給量は確保されており、供給不足になる懸念はない。